

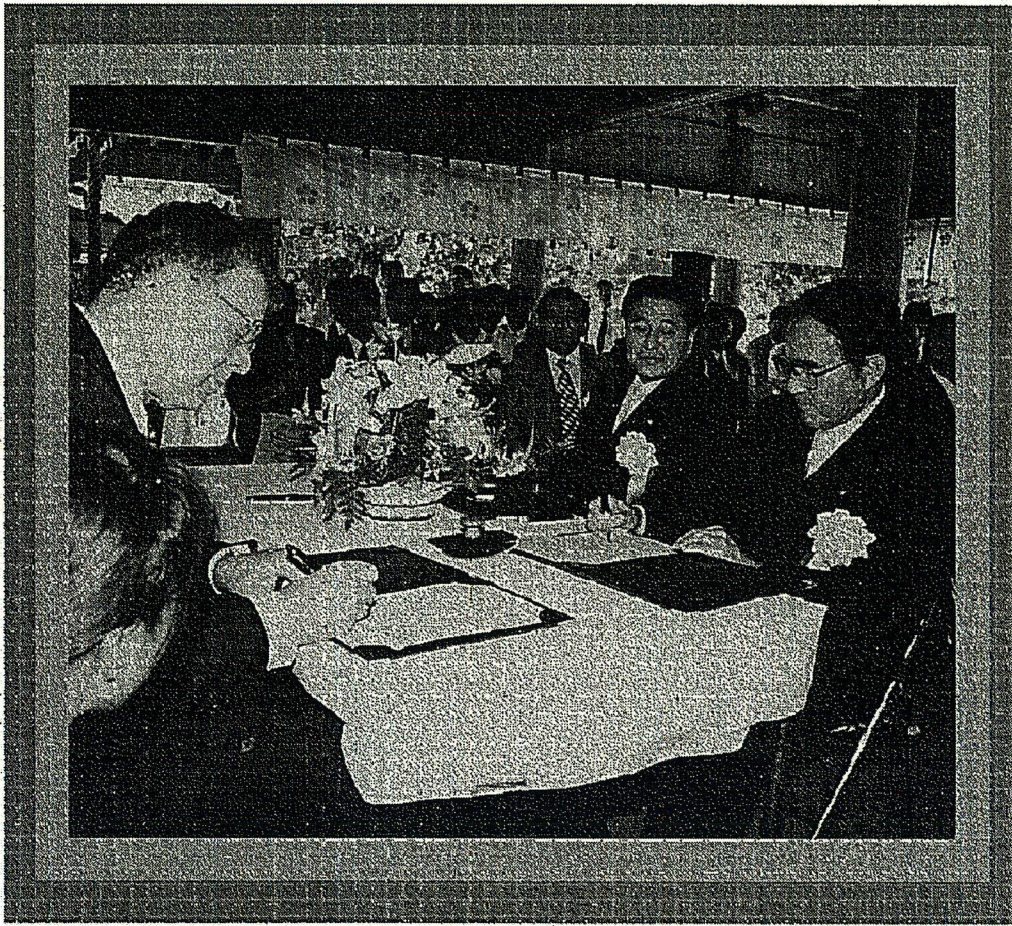
草の根の交流から一歩進んで

五色町

ヴァンワート市

姉妹都市提携調印へ

21世紀
に翔く
「定住と交流のまち五色」の実現に大きな前進



▲五色町鮎原河上神社での調印式

1993年7月23日から8月1日にかけて行われた友好都市使節団20名の訪米より始まった五色町、ヴァンワート市との交流。その新しい出発として、8月15日五色町―ヴァンワート姉妹提携調印式が五色町鮎原河上神社で行われました。藤井寛議会議長、アン・ケナブキー市会議員を立会人として、砂尾治町長、ユージン・バグレイ市長の両名が4名の神官の立ち会いのもと2月のヴァンワート市での調印式に続いて再び姉妹都市提携に関する日本語の協定書にそれぞれ署名し、固い契りを交わしました。

3年余りの地道な交流の積み重ねを経て、今回の調印に至ったことは、五色町民、ヴァンワート市民にとって大きな喜びであり、未来へ向かった「交流の町五色の実現」への大きな前進につながっています。

交流の経過

五色町からヴァンワートへ

●1993年7月23日―8月1日
友好都市調査団20名

●1994年8月7日―8月18日
第1回青少年親善使節団12名
(学生10名、随行2名)

●1995年8月1日―8月12日
第2回青少年親善使節団12名
(学生10名、随行2名)

●1996年2月12日―2月19日
姉妹都市親善使節団19名
(町長、町議会議長、各種団体の役員等)
2月14日に姉妹都市提携の調印

●1996年7月30日―8月10日
第3回青少年親善使節団12名
(学生10名、随行2名)

ヴァンワート市から五色町へ

●1995年8月13日―8月17日
友好使節団16名
(市長夫妻、市会議員等)

●1996年7月24日―7月30日
青少年親善使節団12名
(学生10名、随行2名)

●1996年8月12日―8月16日
姉妹都市親善使節団15名
(市長夫妻、市会議員等)
8月15日に姉妹都市提携の調印



砂尾町長よりの

メッセージ

親愛なるバグレイ市長さんをはじめヴァンワート市の親善使節団の皆さん、ようこそこの五色町へお越しいただき有り難く五色町民を代表して歓迎のお言葉を申し述べさせていただきます。

先の本町友好親善使節団のご訪問に際し大変な歓迎と心温まるお持て成しをいただき感激に浸りながらお見送りの方々に十分なお礼も言えないまま涙しながら無事帰国することが出来ました。改めて

衷心より有り難く厚く御礼申し上げる次第であります。

さて、アメリカ・オハイオ州ヴァンワート市との交流は、平成5年に友好都市調査団20名を派遣しヴァンワート市の方々より心優しい気遣いと大歓迎を受けたのに始まりまして以来、3回にわたる五色町青少年親善使節団の訪来で厚い歓迎を受けて順調に友好親善を進めてまいりました。

平成7年8月ヴァンワート市からユウジン・バグレイ市長ご夫妻をはじめ16名の親善使節団の来町により、なお一層友好の絆が深められ、いよいよ町民各層の姉妹提携への熱き思いが、平成7月12月22日の第262回五色町定例会で姉妹都市提携について決議へと発展、早速翌年2月私と藤井議長をはじめとする19名からなる姉妹

姉妹都市提携調印式次第

(鮎原河上神社、14:30～)

1. 開 会
2. 両国国歌斉唱
3. 交流の経過報告
4. 神事及び
姉妹都市提携調印
5. あいさつ
五色町長 砂尾 治
ヴァンワート市長
ユージン・バグレイ様
6. 散 会

姉妹都市提携に関する協定書

アメリカ合衆国オハイオ州ヴァンワート市と日本国兵庫県津名郡五色町は相互の友好と交流の促進を念願し姉妹都市提携を結ぶことを協定する。

1. 両市町はそれぞれに文化、教育などの分野において、相互交流の促進に努め、国際関係のより良い理解を促進するために、学生をはじめ市民レベルでの相互交流の支援を活発に行うこととする。相互交流により、両市町のますますの発展と繁栄がもたらされることを心より願う。
2. 両市町が友好と親善のきずなを深めることにより、人種、民族間の相互交流の必要性を全世界に示し、世界の平和と繁栄に貢献することを確信するものである。
3. 両市町の姉妹都市関係が、国際協力、国際理解を促進することを心より願う。
4. 両市町長は本日ここに協定書2通にそれぞれ署名する。

1996年8月15日

Eugene Bagley
ユージン・バグレイ
ヴァンワート市長

砂尾 治
五色町長

〈立会人〉

Anne Knapke
アン・ケナプキー
ヴァンワート市議会議員

藤井 寛
五色町副会長

都市親善使節団が渡米、ヴァンワート市コモン・ブリー法廷場で多くの市民の見守る中、厳肅裡に姉妹都市提携調印文書の署名交換を終え大阪府交野市、富山県山田村の姉妹の次に末長い姉妹の契りを交わしたのであります。本日、五色町政40周年の記念する年に再びユウジン・バグレイ市長ご夫妻をお迎えして、この神聖なる河上神社の御神の前で神の使いである山口宮司外4神官立ち会いのも

と再び堅い契りを交わし、固めの杯を交わされたことは紛れも無く友好姉妹都市として、今後とわに文化、教育、産業等各方面の交流発展に大きく貢献出来得るものと信じて止みません。

私の五色町政のメインテーマであります21世紀に翔く「定住と交流のまち五色」の実現のためには、心の大きな世界に開かれた大らかな人間形成が必要であります。関西国際空港と間もなく完成する明石海峡大橋の開通により、あらゆる国々と人の往来を密にし、異文化を肌で感じ取り取る心豊かな人材育成に果たし得る今回の姉妹都市提携調印の意義は誠に大きく、夢多い友好親善交流が今後益々展開され、遠くにあつて隣国のごとく互いに手を携え、両国が大きく発展することを神に念じてごあいさつと致します。

平成8年8月15日
五色町長 砂尾 治